

内容理解(短文) Comprehension (Short passages)

次の(1)から(5)の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

(1)

- 1 「負けずぎらい」という言葉は不思議だ。そのまま読めば、「負けないことがきらい」なのだから負けることを望んでいるみたいだが、もちろん意味は正反対。江戸時代に「負けぎらい」と言っていたのが誤用や「負けじ魂」との混同で「負けずぎらい」に変化したという説があるそうだ。
- 口に出すと「負けぎらい」よりも「負けずぎらい」の方がきっぱりと否定する「負けず」がある分、
- 5 決意や意地を感じる。負けない。それを強調するあまり、言葉としてはおかしい「負けずぎらい」に変化したのかもしれない。

(東京新聞 Web <<https://www.tokyo-np.co.jp/article/52206?rct=hissen>> 2020年8月31日による)

(注1) 江戸時代：西暦1603年～1868年

(注2) 負けじ魂：他の人に負けないようにならぼうという精神

1 筆者が「負けずぎらい」という言葉は不思議だと言っているのはなぜか。

- 江戸時代にできたとされる古い言葉だから
- 人々の誤用や混同によってできた言葉だから
- 文字通りの意味と全く逆の意味の言葉だから
- つい口に出したくなってしまいう言葉だから

(2)

以下は、ある家電量販店から来たメールである。

From : nishino@sakuraden.co.jp
To : miyashita@xxxmail.com
件名 : さくら電器からお客様へのお知らせ

宮下様

さくら電器の西野でございます。

先日は当店にてノートパソコン「MM21」をご購入いただき、ありがとうございました。
何かお困りのことがございましたら、お気軽にサービスセンターまで修理・点検をご依頼
ください。

さて、この度、当店をご利用くださっているお客様を対象に、プリンターやプロジェクター
など周辺機器の販売会を行うことになりました。

各メーカーの商品を取り揃え、30%から50%の割引価格で販売いたします。
この機会にぜひご購入を検討されてはいかがでしょうか。

ご来店をお待ちしております。

- ・開催期間：10月12日（火）～10月15日（金）
- ・時間： 10:00～20:00
- ・場所： さくら電器本店 6階イベントスペース

さくら電器 西野
03-1234-5678

1 このメールは何を伝えているか。

- 1 ノートパソコンのセール開催について
- 2 周辺機器のセール開催について
- 3 ノートパソコンの修理・点検について
- 4 周辺機器の修理・点検について

(3)

- 1 駅の中などのトイレで「いつもきれいに使っていただき、ありがとうございます」という張り紙をよく見かける。トイレをきれいに使うように、ということを行っているのだが、「トイレをきれいに使ってください」と直接的に指示されるよりも、すんなりと受け入れられる気がする。このように、同じ内容を伝えたい場合でも、言い方ひとつで受け手の印象は変わるのだ。日頃から、相手に自分の言いたいことをどのように伝えていくのか、言い直しには気を配りたいものだ。

1 この文章で筆者が最も言いたいことは何か。

- 1 駅の中のトイレをきれいに使うよう、心がけてほしい。
- 2 人に何かを頼むときは、直接的に指示したほうがいい。
- 3 人から指示をされた場合、まずは素直に従わなければならない。
- 4 普段から、人に何か伝えるときは言葉選びに注意すべきだ。

(4)

- 1 大学の就職率重視の傾向を象徴する言葉として、「就職に強い大学」という言葉もよく聞く。だが、「就職に強い」とはいったいどういう意味なのであろうか。この言葉は、実は奇妙なものである。一般的に、就職率が高いということ想像するであろうが、そもそも「就職率」という指標は、最終的な就職決定者を最終的な就職希望者で割ったものであり、途中で進路変更した人が抜けていくので、指標としてやや信頼性に欠けるものである。

(常見陽平「就活」と日本社会 平等幻想を超えて」NHK出版による)

(注1) 象徴する：具体的に表現する

(注2) 指標：何かを判断したり、評価したりするための基準となるもの

1 この文章の内容に合うのはどれか。

- 1 就職に強い大学に通うことこそが、いい会社に就職する方法である。
- 2 就職率が高ければ高いほど、大学の人気は上がっていくものである。
- 3 就職ができない人は途中で進路を変えることが多いので、就職率は下がらない。
- 4 就職率が高いからといって、就職に強い大学であるとは言い切れない。

(5)

以下は、クジャクという鳥について書かれた文章である。

- 1 クジャクの雄は上尾筒を持ち上げて、雌の周りをゆっくり回りながら、時々広げた羽を揺さぶり、羽毛のこすれる音を出して求愛する。宝石をちりばめたような飾り羽と、きらびやかな目玉模様が広がっている。雌はその目玉模様の数の多さと、魅力的な鳴き声で雄を選ぶという。毎年換羽するたびに扇状に広げる羽は大きくなるので、目玉模様の数はそれだけ捕食者や寄生虫の攻撃を切り抜けてきたことを示す。目玉模様がが多いということは、その鳥が生き延びてきた証である。

(浅間茂「虫や鳥が見ている世界—紫外線写真が明かす生存戦略」中央公論新社による)

- (注1) 雄：男。動物の性別を表す際に使われる
(注2) 上尾筒：鳥の尾羽の付け根の上面をおおっている羽
(注3) 雌：女。動物の性別を表す際に使われる
(注4) 換羽する：鳥の羽毛が抜け変わる事
(注5) 捕食者：他の動物をえさとして食べる動物
(注6) 寄生虫：動物の体表や体内から栄養をとって生活する生物

- 1 クジャクの目玉模様について、内容に合うのはどれか。
- 1 羽の音を出すためには目玉模様が必要である。
 - 2 羽毛をこすることで目玉模様は大きくなっていく。
 - 3 いい声で鳴く雄は目玉模様もきれいである。
 - 4 生命力が強い雄ほど羽に目玉模様がが多い。